

十 年 一 昔 (その五)

町原振子坂界限

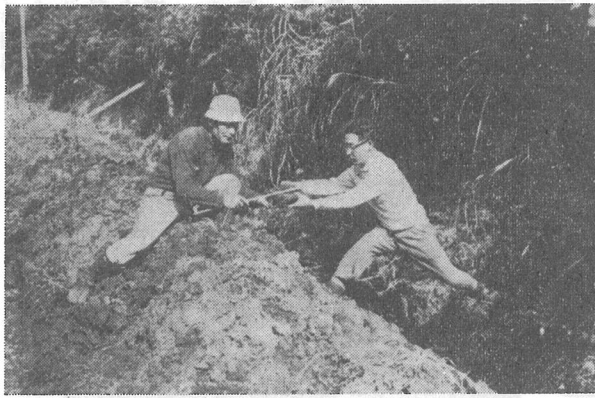
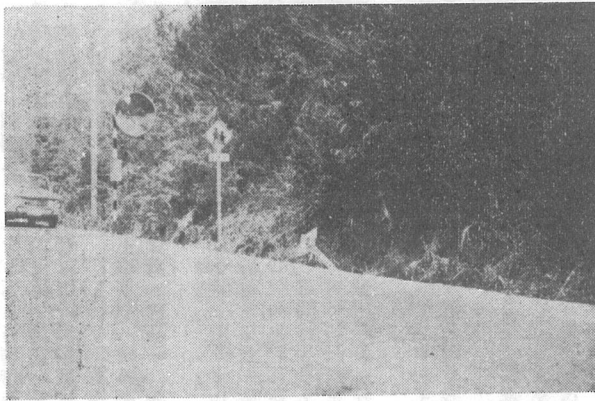
「小堤や町原の山から燃える泥が出るそうだ」、「真黒な色をした泥は本当に燃える」そんな噂がたつたのは昭和二十六年頃のことでした。地元のある有識者が「これは泥炭と言って草や木が石炭になる前のもので、質のよいものは炭団や煉炭の原料になる筈」という説明をしたりしていましたが、特に燃料に使うこともなく、それこそ燃さない

いまま噂は消えてゆきました。ところが、昭和三十七年頃また同じような噂がたちま断層が見える」小堤の山から出たという燃える土と続いているらしい」等というものでした。丁度、その頃の横芝町には史談会と言って、月に一度位宛に集合しては横芝町の昔の事等を語り合ひ、また研究し合う集りが出来ていま

「その噂は本当かもしれない、とにかく調べて見よう」と、問題の場所といねれる取立入口の反対側の断層を調べて見たことがありました。その辺りは県道になっていきましたが、また砂利道でした。それに振子坂の下り際になっていましたので、両側は雨水に洗い流されて土肌が露出して溝の様に掘り削られ、その一部にいわれる泥炭らしい層が真黒に現われていたのです。「やっぱり泥炭ですね、これは珍らしい、歯袋が入って

ます。或いはジュラ期時代のものかもしれない」そんなことを言いながら掘出した泥炭の中からすぎなの腐ったようなものを筆者に見せてくれたりしました。丁度、そこを通りかかった土木建築業の八角さんが、道路の端に頭を揃えて土を掘り返して二人を異様に思ったのか、車を止めて近寄り、事情を聞くと「噂は聞いていました」と一緒に掘り返しを手伝ってくれろという嬉しい一駒もありました。あれから十年近い歳月が流れ、大木竹先生は故人になられ、手伝いを買って出られた八角さんは、町会議員として二回目の任期にご精進中である等、いろいろな変転がありました。いま、その当時

の現場に立って見ますと、取立の入口から坂田の梅林に入る道路も大分広くなり、古城跡を散策するための乗用車が走っていますし、泥炭の出たという道路の辺りは完全に舗装されて、カーブミラーや交通標識が建っていました。旧大総村時代から話題を巻きおこした泥炭層も、ジュラ期時代の歯袋の話を秘めたまま地下に埋まってしまいました。恐らく再び私達の前に姿を見せてないでしょう。(写真上カーブミラーの附近に泥炭層があった。下は泥炭層の調査をする大木竹先生(故人)と、八角喜久夫氏(故人)頃))



新らしく電話をひくため申し込んでから長期間ひけないことに目をつけ、詐欺を働く事件が最近相ついで発生、千葉県下でも柏、野田、流山市等に被害者が出ています。手口は「金さえ出せば早く引いてやる」等巧みに誘いかけて途中で金を受け取り逃走していきます。公社では、このように戸別に訪問をして金を受け取ることは絶対ないようです。このような「サギ」にかからないよう充分注意してください。このようなことがあ

電話架設の詐欺横行

町民相談室
国保から社会保険に移った時の受診

問 私は、今春ある会社に入社した新入社員です。十日程前に、会社の事務の方より「社会保険に加入するから」と云われ、手続きを済ませたのですが、まだ保険証は来ません。そのために町の保険証はそのままにしてあります。このような場合町の保険証は使用できる

りましたら電話横芝2局0991へ至急連絡してください。

答 あなたの場合は、社会保険の被保険者になった訳です。その翌日から国民健康保険の被保険者資格はなくなり、国保の保険証は無効になります。このような場合には十四日以内に役場に届出をすることになります。また、社会保険に申請し、受理されてから一週間以内に保険証が交付されますが、この間に診療を受ける場合は、その旨を病院、または診療所の窓口で話し了解を得て、後日保険証を提出するか、全額を支払って、診療明細書と領収証をいただき社会保険に療養費払いの申請をすることになります。尚、保険税は、社会保険に加入した本人についてのみ(四月一日以後の場合)その日の属する月より減額が行われます。安心して、いつでも受診のできるよう、届出はその都度行いましょう。

